

表 政策の主な内容

項目		概要
第1条	財政資金によるサポートを強化	上海市と国が1:1の割合で財政出資を行い、燃料電池自動車開発のための基金（以下、基金）を設置する。
第2条	車両のモデル応用をサポート	車両が国の総合評価奨励ポイントを獲得した場合（注）、上海市は1ポイントごとに20万元を完成車メーカーに支給する。このうち基金から15万元、燃料電池システムメーカーが所在する区から5万元を支給する。国によるインセンティブが終了した後も基金による補助金給付は継続することができる。
第3条	コア部品産業化の推進	上海市でスタック、膜電極、バイポーラプレート、プロトン交換膜、触媒、カーボンペーパー、空気圧縮機、水素循環システム、水素貯蔵タンクなどコア部品を研究開発、生産し、国内の燃料電池モデル都市群の車両で使用された場合には、国の総合評価ポイントを参考に、1ポイントあたり3万元を支給する。各企業の同様の製品に対する支給額の合計は3,000万元を上限とする。またコア部品の対象範囲は変更可能。
第4条	重点分野のモデル革新を奨励	2025年末までに、各年の走行距離が2万キロメートルを超える燃料電池トラック、商用通勤バスの車両運行企業に対し、最大3年間補助金を支給する。設計重量12～31トン以下のトラックは毎年5,000元、31トン超のトラックは毎年2万元、通勤バスは毎年1万元を上限とする。
第5条	燃料電池バスのモデル応用を推進	同種のディーゼル車のコストと比較し、バス運行会社の負担を増やさないという原則に従い、条件を満たす地域での燃料電池バスのモデル応用を奨励する。運行台数は50台以上。具体的な補助金は、「上海市新エネバス発展支持政策実施意見（2021～2023年）」に基づき支給する。
第6条	水素ステーション建設をサポート	2025年末までに、上海市内で関連規定に従って水素ステーションを建設し、竣工検収を完了し、ガス事業免許（自動車用水素）を取得した場合、ステーションの運営・建設に対し、総設備投資の30%を補助する。補助の基準は70MPaの充填能力を持つステーションを優先する。2022年末までにガス事業免許を取得した場合500万元、2023年までの場合は400万元、2024～2025年末までの場合は300万元をそれぞれ上限として、3年間に分けて支給する。
第7条	水素充填コストの引き下げ	2025年末までに、ガス事業免許（自動車用水素）を取得した水素ステーションについて、水素の小売価格が1キログラム当たり35元を超えないものとし、実際の年間の水素販売量に応じて水素ステーション運営主体に補助金を支給する。2021年の補助金は1キログラム当たり20元、2022～2023年は15元、2024～2025年は10元とする。
第8条	産業サプライチェーン全体の政策支援システム改善	燃料電池自動車、コア部品、基礎材料、自動車用水素生産、貯蔵、輸送、充填のための産業サプライチェーン全体のブレークスルーを推進。

（注）国の総合評価奨励ポイントとは、2020年9月21日に発表された「燃料電池自動車モデル都市申し込みに関する通知」に示された奨励ポイントの標準による。

（出所）上海市「燃料電池自動車産業の発展を支援するための若干の政策」を基にジェトロ作成